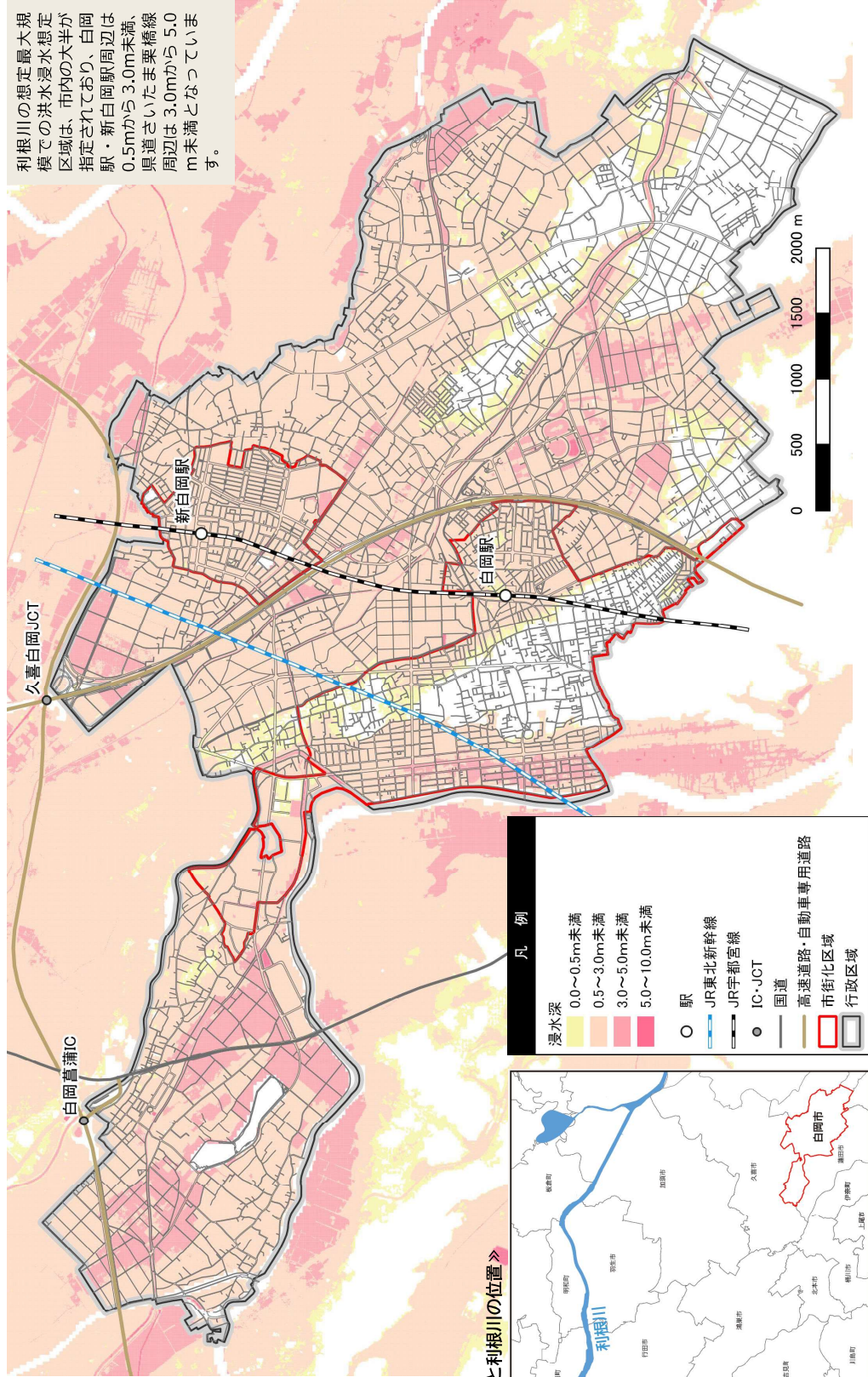


1) 洪水浸水想定区域（浸水深：想定最大規模）

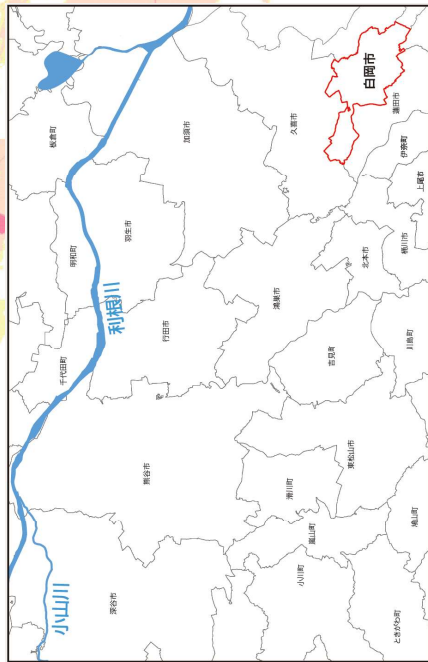
市内には、利根川、小山川、荒川、中川流域に関する洪水浸水想定区域等が指定されています。最も範囲の広い利根川では、市域の大半が洪水浸水想定区域に指定されており、人口が多く集積している市街化区域内も含まれています。白岡駅・新白岡駅周辺は0.5mから3.0m未満、県道さいたま栗橋線周辺は3.0mから5.0m未満となっています。

《A 利根川の想定最大規模での洪水浸水想定区域》



利根川の想定最大規模での洪水浸水想定区域は、市内の大半が指定されており、白岡駅・新白岡駅周辺は0.5mから3.0m未満、県道さいたま栗橋線周辺は3.0mから5.0m未満となっています。

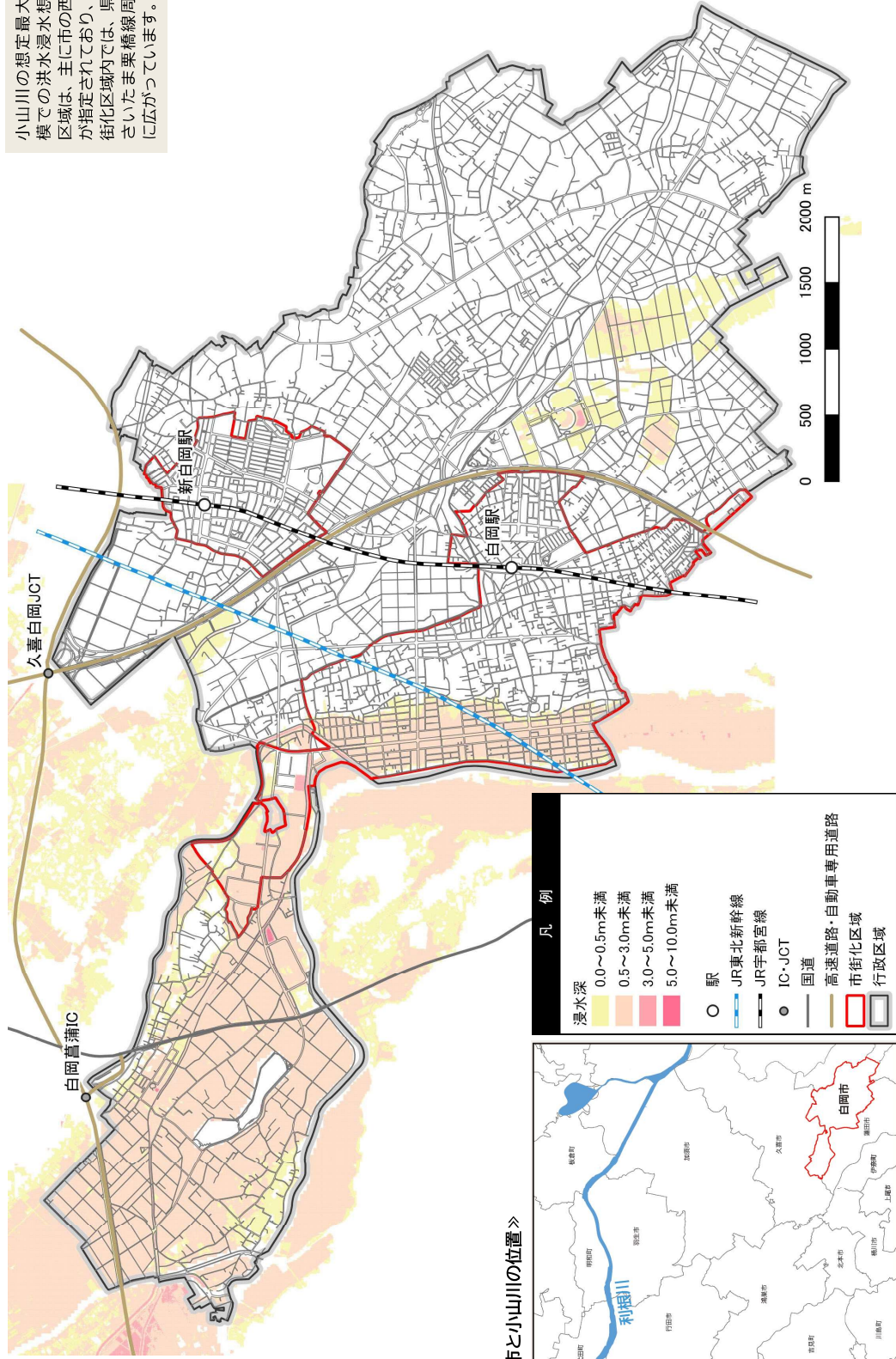
《白岡市と利根川の位置》



出典：洪水ハザードマップ（白岡市 令和4年（2022年）4月）

出典：利根川水系利根川洪水浸水想定区域図（利根川上流河川事務所・利根川下流河川事務所）

《B 小山川の想定最大規模での洪水浸水想定区域》

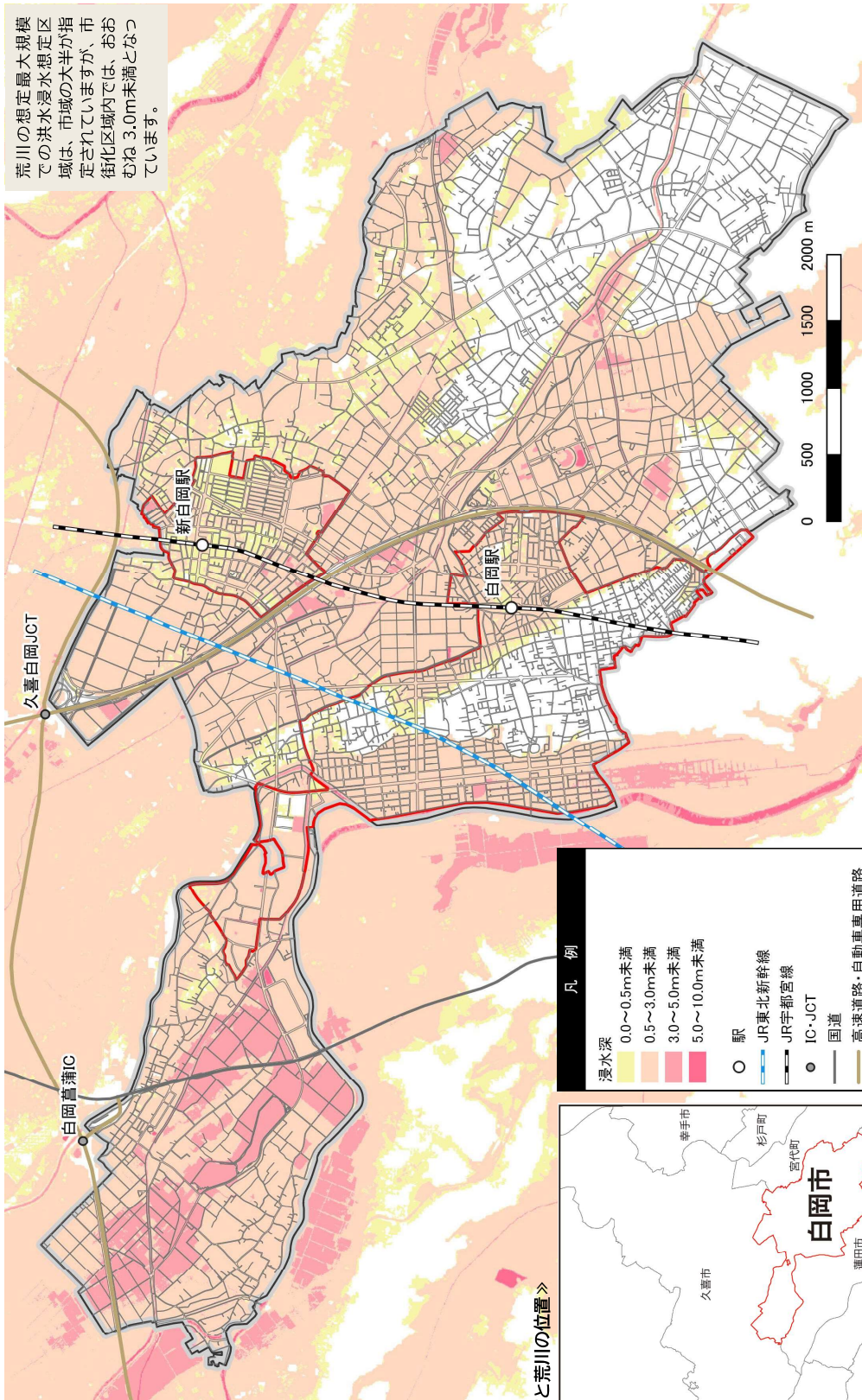


小山川の想定最大規模での洪水浸水想定区域は、主に市の西部が指定されており、市街化区域内では、県道さいたま美橋線周辺に広がっています。

出典：利根川水系小山川洪水浸水想定区域図（利根川上流河川事務所）

出典：洪水ハザードマップ（白岡市 令和4年（2022年）4月）

《C 荒川の想定最大規模での洪水浸水想定区域》



荒川の想定最大規模での洪水浸水想定区域は、地域の大半が指定されていますが、市街化区域内では、おおむね 3.0m 未満となっています。

《白岡市と荒川の位置》



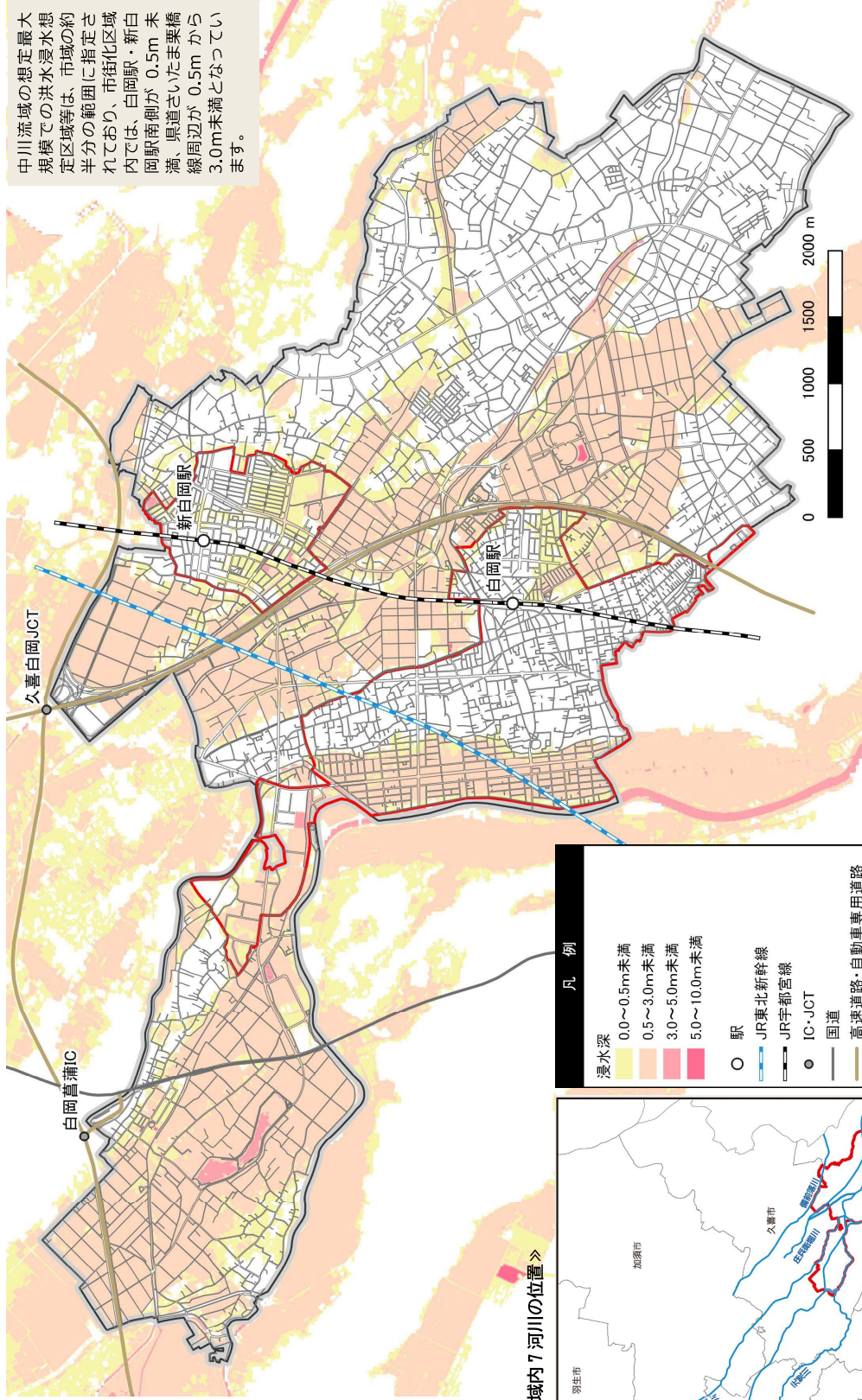
凡 例

浸水深	0.0~0.5m 未満
	0.5~3.0m 未満
	3.0~5.0m 未満
	5.0~10.0m 未満
○	駅
—	JR東北幹線
—	JR宇都宮線
●	IC・JCT
—	国道
—	高速道路・自動車専用道路
□	市街化区域
□	行政区域

出典：荒川水系荒川洪水浸水想定区域図（荒川上流河川事務所・荒川下流河川事務所）

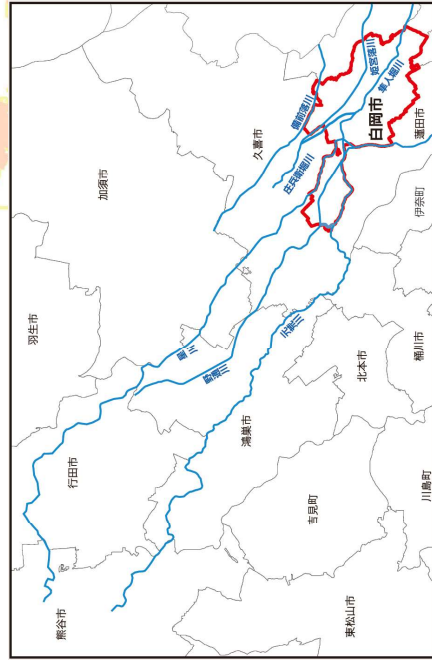
出典：洪水ハザードマップ（白岡市 令和4年（2022年）4月）

《D 中川流域の想定最大規模での洪水浸水想定区域等》



中川流域の想定最大規模での洪水浸水想定区域等は、地域の約半分の範囲に指定されており、市街化区域内では、白岡駅・新白岡駅南側が 0.5m 未満、県道さいたま栗橋線周辺が 0.5m から 3.0m 未満となっており、まます。

《白岡市之中川流域内7河川の位置》



凡例

浸水深	0.0~0.5m未満	0.5~3.0m未満	3.0~5.0m未満	5.0~10.0m未満
○	駅	JR東北新幹線	JR宇都宮線	IC・JCT
—	国道	高速道路・自動車専用道路	市街化区域	行政区域

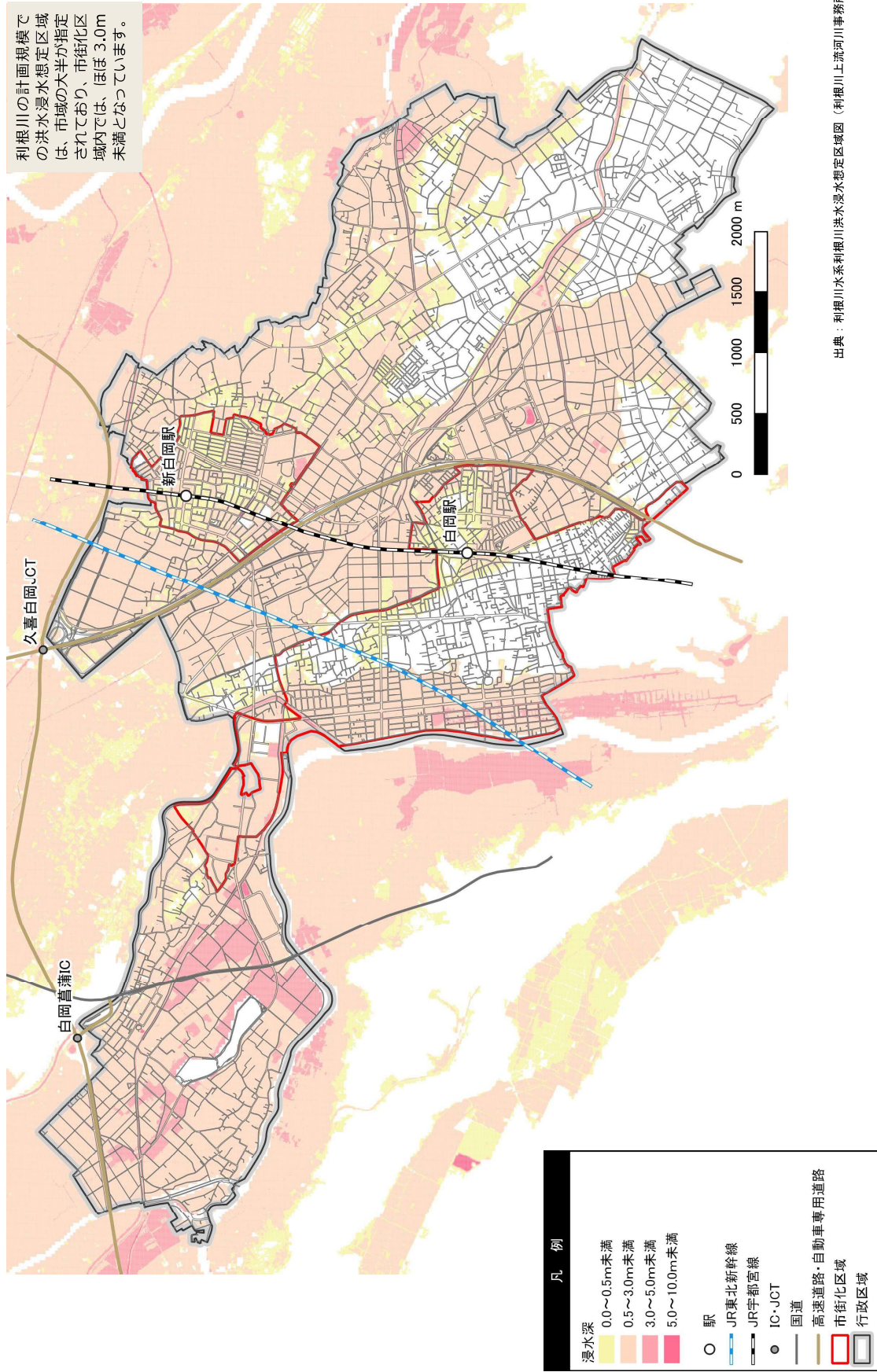
出典：利根川水系中川流域洪水浸水想定区域図・水害リスク情報図（埼玉県）

出典：洪水ハザードマップ（白岡市 令和4年（2022年）4月）

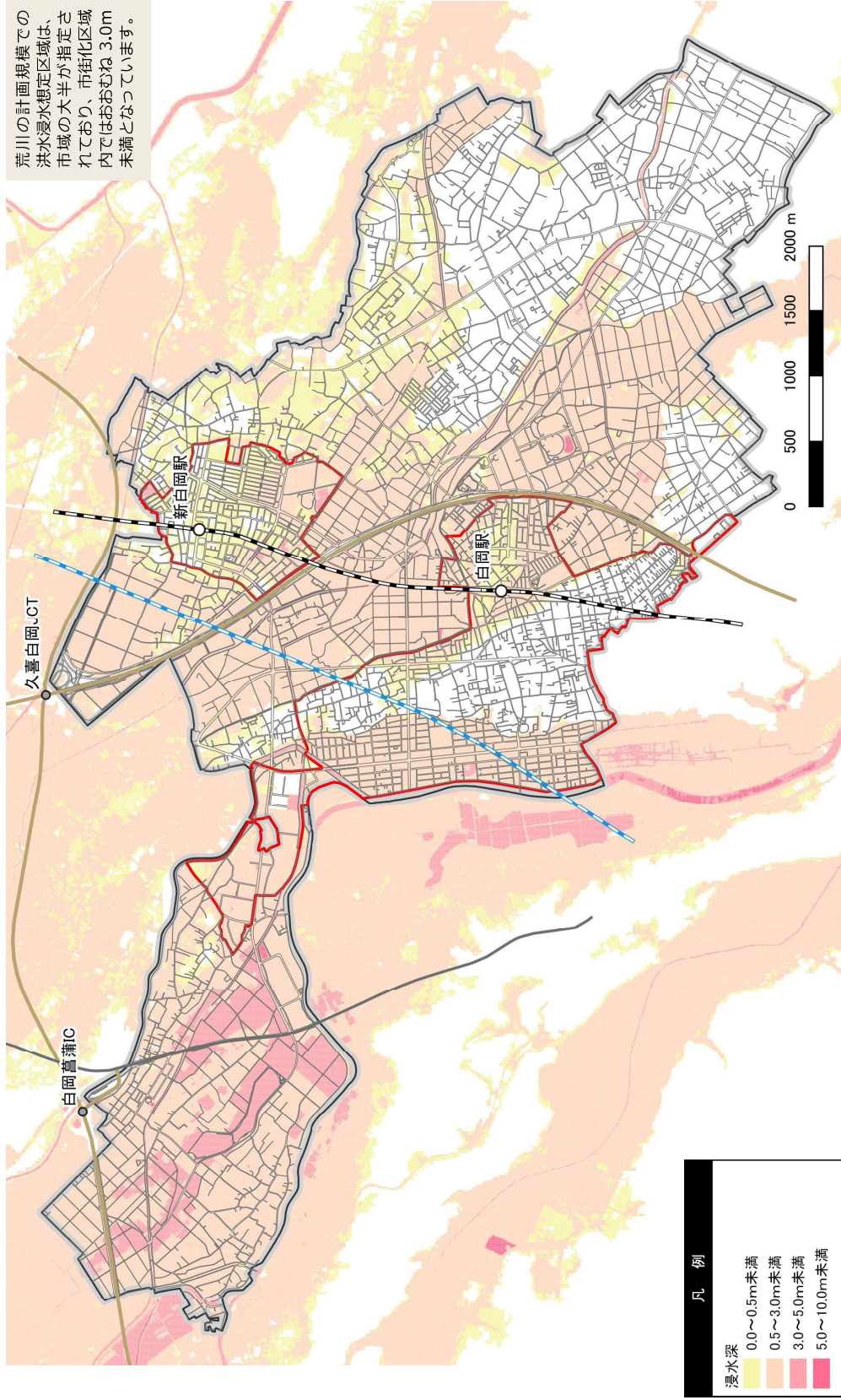
2) 洪水浸水想定区域等（浸水深：計画規模）

本市が対象となる計画規模降雨での洪水浸水想定区域等は、利根川、荒川、中川流域が指定されています。最も範囲の広い利根川では、想定最大規模よりも浸水の範囲は若干狭くなるものの、市域の大半が含まれています。市街化区域内はほぼ3.0m未満となっており、市街化区域外は、県道さいたま栗橋線周辺の一部は3.0mから5.0m未満となっています。

《A 利根川の計画規模での洪水浸水想定区域》

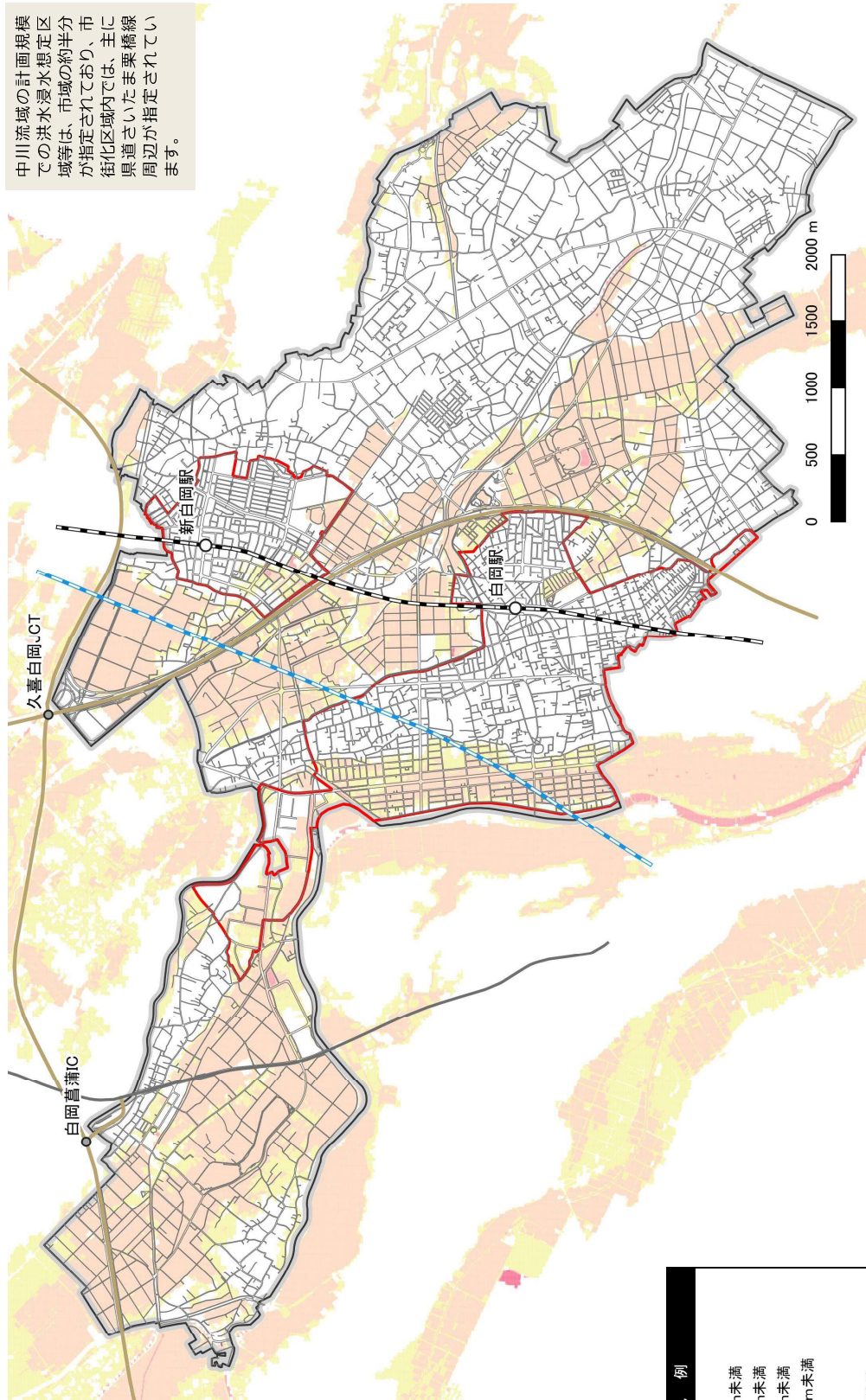


《C 荒川の計画規模での洪水浸水想定区域》



出典：荒川水系荒川洪水浸水想定区域図（荒川上流河川事務所・荒川下流河川事務所）

《D 中川流域の計画規模での洪水浸水想定区域等》



中川流域の計画規模での洪水浸水想定区域等は、市域の約半分が指定されており、市街化区域内では、主に県道さいたま栗橋線周辺が指定されています。

凡 例	
浸水深	0.0～0.5m未滿
	0.5～3.0m未滿
	3.0～5.0m未滿
	5.0～10.0m未滿
○	駅
—	JR東北幹線
—	JR宇都宮線
●	IC・JCT
—	国道
—	高速道路・自動車専用道路
□	市街化区域
□	行政区域

出典：利根川水系中川流域洪水浸水想定区域図・水害リスク情報図（埼玉県）

3) 洪水浸水想定区域（浸水継続時間：想定最大規模）

浸水継続時間は、氾濫水到達後、一定の浸水深（0.5mを基本）に達してからその浸水深を下回るまでの時間です。最も範囲の広い利根川の浸水継続時間は市域の大部分が、飲料水や食料等の不足による健康障害の発生や生命の危機が生じるおそれがあるとされる浸水継続時間72時間（3日間）以上の区域となっています。特に県道さいたま栗橋線周辺は、1週間以上、浸水が継続する区域となっています。

《A 利根川の浸水継続時間》

